

パワーポイント 2010 以降ですと、

「ファイル タブ」>「保存と送信」>「ファイルの種類」>「ビデオの作成」
というコマンドがあり、これが一番手軽なやり方です。

パワーポイントがこれ以前のバージョンの場合には、キャプチャーソフトを使ってビデオファイル化することが可能です。二つほど紹介します。ひとつは、窓の杜というウェブサイト <http://www.forest.impress.co.jp/lib/pic/piccam/capture/>にあるカハマルカの瞳で、これは Windows 用デスクトップ画像を動画で保存する定番フリーウェアの一つです。使い方は以下のとおりです。

窓の杜などからダウンロードして解凍して、任意の場所に置く。

- 画面上の Target Player(アプリ)で
キャプチャするウィンドウ(パワーポイント)を設定する

Recording Size

どこを保存するか設定する

- Recording Mode で AVI を設定する

- Recording Setting を設定する。

フレームレートなどを例えば 10 コマ/秒などにしておく
サイズ変更で例えば 640×480 などにする
(全画面キャプチャだと大きすぎて処理が重過ぎるので)

- 時間を設定。

操作の時間を考えて 5 秒後などに設定する。

うっかり画面のキャプチャをし続けて、知らないうちに巨大なファイルを出力してしまう危険があるので長さを 1 分とかにしておくのが安心。

- REC ボタンで保存の開始

5 秒後の設定をしておけば、5 秒後に保存開始。

保存の中断などの作業のために、タスクトレイにアイコンがでる。

終了すると、無圧縮の AVI ファイルが保存先のフォルダに作られる
(環境設定で保存先フォルダの場所を設定できる)

- 必要に応じて動画の圧縮をして、無圧縮ファイルは削除する。

(カハマルカの瞳にも圧縮ツール (おにぎりのアイコン) がついている)

もう一つは、コマンドラインで使える有名なフリーソフトの ImageMagick で、

<http://www.imagemagick.org/script/index.php>

からダウンロードでき、Windows, Linux, Mac すべてで使えます。使い方を以下に説明します。

■postscript、pdf、gif、jpeg 形式でも何でも良いので、パワーポイントを1ページごとに独立したファイルで保存する。ただしその場合、ファイル名は連番にする。(例えば anime001.ps、anime002.ps.... コマンドラインでlsした時の順番に並べば何でも良い)

■ImageMagick 内 convert コマンドを使い、例えばパワーポイント各ページを ps で保存したならば、

```
convert *.ps anime.gif
```

でアニメーション gif が作成される。

いろいろオプションがあり、無限ループしたい場合は、

```
convert -loop 0 *.ps anime.gif
```

ページのコマ送りの早さ調整には、

```
convert -delay 50 *.ps anime.gif
```

で 50/100 秒単位でページが進みます。

mpeg コーデックもインストールされていれば、mpeg フォーマットで作る事も可能ですが、パワーポイントで使うならば gif アニメで十分でしょう。

以上です。